

施策マネジメントシート（令和 5 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	5	政策名	みんなでささえあう やさしいまち	
	施策 No.	5	施策名	男女共同参画の推進	
施策主管課			企画政策課	施策関係課名	健康増進課・人権・同和対策室・社会福祉課

1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)					
市民			性別に関わりなく活躍できる社会を目指す					
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因
1	性別によって役割を固定する考え方(夫は外で働き、妻は家庭を守るべき)に反対する市民の割合	%	目標値	70.5	71.0	71.5	72.0	1) 達成。「性別によって役割を固定する考え方」に反対する市民の割合は、昨年に引き続き目標を達成することができたが、前年度割合を下回った。 年齢別でみると、20代後半が86.7%ともっとも高く、60代にかけて概ね目標値を上回っている。目標値を下回っているのが70歳代以上であることから高齢者層への男女共同参画に対する啓発が引き続き必要であると考えられる。 2) 達成。「審議会等における女性の参画率」は令和4年度(35.6%)から対前年比-1.2%の34.4%で目標は達成することができたが、前年を下回った。これは、女性参画率の比較的高い審議会(平均37.5%)が対象から外れたことが要因として考えられる。
			実績値	73.3	72.1	68.0	68.0	
			達成率	104.0%	101.5%	96.5%	94.4%	
2	審議会等における女性の参画率	%	目標値	32.0	33.0	34.0	35.0	
			実績値	35.6	34.4	30.0	30.0	
			達成率	111.3%	104.2%	88.2%	85.7%	
3			目標値					
			実績値					
			達成率					
4			目標値					
			実績値					
			達成率					
5			目標値					
			実績値					
			達成率					

2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	（施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。）
男女共同参画に対する理解の促進	- 市民を対象に男女共同参画フォーラム・男女共同参画市民講座を開催し、男女共同参画に対する意識啓発を行った。 - 県との共催事業「マイナス1歳からのイクカジ推進事業」として、佐賀県版両親学級を開催した。 - 市立図書館に男女共同参画に関連する図書を紹介する特設コーナーを設置した。 - 男女共同参画推進に関する情報を市報やホームページを利用して発信した。
女性の活躍を促す環境づくり	「第3次男女共同参画プラン」（計画期間：令和4年度～令和8年度）の初年度となる令和4年度の施策の実施状況を把握し、男女共同参画審議会で報告を行った。 - 男女共同参画推進本部会議等を通じて政策決定の場である審議会等への女性の登用を促し、各課へ審議会等への女性委員登用数の目標を立ててもらい等、女性の活躍推進に向けた取り組みを行った。 - 区長連絡協議会で、女性区長登用について呼びかけを行った。 - 政策決定の場における女性の参画におけた人材情報の提供・マッチングを目的とした女性人材バンクへの登録者が1名増えた。

3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

- 男女共同参画社会の形成に向けては、市民、事業者、各種団体等のすべての人々の男女共同参画に対する意識の浸透や理解の促進が必要不可欠である。 「小城市男女共同参画プラン さくらプラン」の進行管理を行いながら、市で実施している男女共同参画に関する事業について、引き続き推進を促していく必要がある。 - 事業者には様々な手法を通じて男女共同参画に関する情報を提供し、働き方改革を促す取り組みが必要である。 - 男女共同参画の啓発に取り組む団体や人材の育成・発掘が求められている。

4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

- 男女共同参画推進事業補助金等を活用し、男女共同参画に取り組む団体等を育成するための啓発を行う。 - 審議会等における女性の参画を促すため、引き続き各課で女性委員登用数の目標を立ててもらい参画率向上を図る。 - 男女共同参画団体と市役所各課との協働による啓発事業の実施に向けた体制の構築を行う。
--